

問9 本調査またはリハビリテーションについてのご意見	
	厳しすぎると思います。
73	今以上に体力、筋力が落ちてしまうと、介護する側の体力負担が大きくなり、本人も寝ている時間が長くなってしまうと、生きているのも苦しくなると思うので、リハビリを続けて、今よりも落ちないように体力をつけ、少しずつでも、自分の力でできる事を増やして前向きな気持ちでいられるように、医療を受けられるように、受け続けられるようにしてほしい。
74	私は17年12月末迄リハビリのお世話に成りましたが、最近の規定で定められた時間が終りまして此れ以上受ける事が出来ません。リハビリのお陰様で大変良く成って居り、今少し続けて頂けば歩行も安定し危険も無く成り痛みも無く成る事と思い、大変残念で失望致して居ります。此の度の規定の改善を願って止みません。
75	リハビリとは毎日の先生方の指導のもと本人の気力の積み重ねで、僅かずつ元気を取り戻すことが出来ると実感しました。先生方に感謝し、自分もまだまだ努力せねばと思います。
76	私の町内に施設はあるが、時間がかかりながら充分に出来ない。通院の中でマッサージをしてリハビリをする。なぜか安心の中で前向きに出来た。みんなのリハビリの先生は丁寧、優しい！！個人差はあると思いますが4ヶ月余りですが、まだしっかり歩くことは大変です(毎日出外でリハビリしている)杖は必ず持つことにしています。だからこんな施設がたくさん出来てほしい。会員制でもよい(充分にお金を出してもよい)だんだん歩くのは出来ていますが、歩く・走るほどの程度か無理をしてないか。時々話していただく方も(専門的に問答の出来る方)ある場があるとよいと思います。
77	・リハビリを中止されたら痛みが再発してしまうのではないかと心配である。せめて週に1回で良いので、継続して行なえる様に考えてほしい。
78	母は脳梗塞・糖尿病等のため胃ろうで寝たきり状態で、体を動かす事も寝返りを打つこともできません。昼の経管は車イスで摂取できるようになり、テレビを見るとか音楽を聞くとかの意志表示もはっきりできるようになってきていますが、12月22日で、坐位訓練等の理学、作業療法が打ち切られました。折角ここまできたのに残念でなりません。母はまだ79才です。ゆっくりゆっくりですが回復していました。このまま続けていただきたいと思っています。今のままではとても自宅介護は無理ですが、もう少し良くなれば可能になるのではと思うと打切りは残念でなりません。インシュリンも有るので次の受入れ先が見つからず途方に迷っております。私ももう長いので疲れてしまいました。が、1月で退院しなければなりません。前回この病院へ転院してきました時は、2ヶ月位前より調子が悪くなってその後少しずつ回復してきましたが、寝たきりの病人には転院が体力的にも精神的にもとても負担がかかるということがわかりました。今まではもっと良くなってからの移動でしたのでさほど感じなかったのですが、辛いです。看なければいけない親が母も含めて三人いますが、年長は92才です。3人の親をかかえて不安で仕方有りません。高額のお金を払えば心配ないそうですが、これから先いつまで続くかわからないので、そんな事もできません。弱者や、お金の無い人にとっても冷たい世の中になりました。母の顔を見ながら不安と心細さで悲しくなります。機能を少しでも維持できればと私が見よう見まねで母をマッサージしております。
79	期間を決めないでほしい。自由にリハビリをさせて下さい。
80	病院の方針により中場途中で転院しなければならないのが残念です。全く動なかったのが、杖で歩けるようになりましたことに大変感謝します。